

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名 特種東海製紙株式会社

上場取引所 東

コード番号 3708 URL <http://www.tt-paper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三澤 清利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務・IR室長 (氏名) 関根 常夫

TEL 03-3281-8581

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	38,782	△3.8	1,729	△28.0	1,735	△25.8	498	18.9
23年3月期第2四半期	40,296	4.8	2,400	44.0	2,338	54.8	419	△51.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 400百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △324百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	3.13	3.12
23年3月期第2四半期	2.63	2.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	122,753	59,653	48.4
23年3月期	127,632	59,629	46.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 59,421百万円 23年3月期 59,389百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
24年3月期	—	2.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	0.8	3,100	△19.3	3,000	△20.0	1,400	66.7	8.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	163,297,510 株	23年3月期	163,297,510 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,818,556 株	23年3月期	3,914,776 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	159,432,736 株	23年3月期2Q	159,319,707 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信【添付資料】2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

24年3月期第2四半期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	第2四半期末
1株当たり配当金（円）	2.50
配当金総額（百万円）	398

（注）純資産減少割合 0.007

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災の影響から持ち直しつつある一方で、電力の供給不安、欧米経済の減速懸念、急激な円高進行など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、当連結会計年度よりスタートした第二次中期経営計画のもと、その基本テーマである「深化。そして、進化。」に沿って、「基盤事業の徹底的な強化」、「成長路線に向けた新たな変化」に向けた諸施策を推進してまいりました。

産業素材事業では、震災の影響はあったものの、主力製品である段ボール原紙は、飲料関連の需要が堅調に推移し、前年同期並みの販売数量を確保しました。クラフト紙についても、米麦向け需要が堅調に推移したことから、販売数量が前年同期を上回りました。

なお、原燃料価格の上昇等を受け、更なる生産効率の改善などに努めるとともに、段ボール原紙・クラフト紙につきまして下期より価格修正に取り組んでまいります。

特殊素材事業では、特殊機能紙については、夏場の電力使用制限による需要の落ち込みは軽微で、販売数量・金額ともに前年同期を若干上回りました。一方、特殊印刷用紙については、主力製品であるファンシーペーパーが依然として採用手控えの動きがあり減少したものの、高級印刷紙については、震災後の自粛ムードが緩和されつつあり、販売数量・金額ともに回復傾向にあります。

生活商品事業では、主力製品であるペーパータオル・トイレットペーパーともに、震災の影響等により、販売数量は前年同期を下回りました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は38,782百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は1,729百万円（前年同期比28.0%減）、経常利益は1,735百万円（前年同期比25.8%減）、四半期純利益は498百万円（前年同期比18.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、122,753百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,878百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金の減少によるものであります。

負債は、63,100百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,902百万円の減少となりました。主な要因は、借入金の減少によるものであります。

純資産は、59,653百万円となり、前連結会計年度末に比べて23百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。自己資本比率は48.4%となり、前連結会計年度末に比べて1.9ポイント上昇しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は6,730百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,508百万円の減少となりました。

営業活動の結果得られた資金は3,183百万円となりました。資金増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,034百万円、減価償却費3,866百万円であり、一方、資金減少の主な要因は、仕入債務の減少額1,057百万円、たな卸資産の増加額751百万円であります。

投資活動の結果使用した資金は2,145百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得2,383百万円であります。

財務活動の結果使用した資金は4,546百万円となりました。資金減少の主な要因は、長期借入金の減少額2,090百万円、短期借入金の減少額2,054百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、平成23年8月10日に公表いたしました業績予想と実績値の間に差異が生じております。詳細につきましては、本日公表の「平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

通期の連結業績予想につきましては、平成23年8月10日に公表いたしました業績予想に変更ありませんが、業績予想の修正が必要と判断した場合は速やかにお知らせいたします。

サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,454	6,766
受取手形及び売掛金	22,166	22,808
商品及び製品	5,987	5,660
仕掛品	518	820
原材料及び貯蔵品	4,094	4,795
繰延税金資産	1,089	996
その他	473	542
貸倒引当金	△32	△33
流動資産合計	44,751	42,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,021	17,582
機械装置及び運搬具（純額）	35,461	33,230
土地	13,005	13,010
その他（純額）	1,635	2,525
有形固定資産合計	68,124	66,349
無形固定資産		
のれん	665	815
その他	378	370
無形固定資産合計	1,043	1,185
投資その他の資産		
投資有価証券	11,932	11,789
長期貸付金	38	38
繰延税金資産	452	206
その他	1,440	978
貸倒引当金	△151	△151
投資その他の資産合計	13,712	12,862
固定資産合計	82,880	80,397
資産合計	127,632	122,753

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,693	11,636
短期借入金	23,171	21,116
1年内返済予定の長期借入金	4,303	3,700
未払法人税等	583	408
賞与引当金	397	407
修繕引当金	279	—
その他	4,062	5,032
流動負債合計	45,491	42,301
固定負債		
長期借入金	19,514	18,027
繰延税金負債	803	710
修繕引当金	55	—
退職給付引当金	913	864
役員退職慰労引当金	56	56
環境対策引当金	272	272
資産除去債務	796	797
その他	97	69
固定負債合計	22,510	20,798
負債合計	68,002	63,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,485	11,485
資本剰余金	14,463	14,452
利益剰余金	34,425	34,525
自己株式	△1,094	△1,065
株主資本合計	59,279	59,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	30
繰延ヘッジ損益	△1	△7
その他の包括利益累計額合計	110	23
新株予約権	70	76
少数株主持分	169	155
純資産合計	59,629	59,653
負債純資産合計	127,632	122,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	40,296	38,782
売上原価	31,797	31,268
売上総利益	8,498	7,513
販売費及び一般管理費	6,098	5,784
営業利益	2,400	1,729
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	147	161
その他	192	188
営業外収益合計	340	351
営業外費用		
支払利息	299	245
その他	103	99
営業外費用合計	402	344
経常利益	2,338	1,735
特別利益		
固定資産売却益	5	3
投資有価証券売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	15	—
特別利益合計	20	3
特別損失		
固定資産除却損	55	135
減損損失	257	—
災害による損失	—	226
投資有価証券評価損	—	182
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	748	—
特別退職金	—	160
特別損失合計	1,061	704
税金等調整前四半期純利益	1,296	1,034
法人税、住民税及び事業税	517	463
法人税等調整額	351	83
法人税等合計	868	547
少数株主損益調整前四半期純利益	428	487
少数株主利益又は少数株主損失(△)	8	△11
四半期純利益	419	498

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	428	487
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△753	△81
繰延ヘッジ損益	0	△5
その他の包括利益合計	△752	△86
四半期包括利益	△324	400
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△332	411
少数株主に係る四半期包括利益	8	△11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,296	1,034
減価償却費	3,917	3,866
減損損失	257	—
のれん及び負ののれん償却額	50	50
修繕引当金の増減額 (△は減少)	89	△334
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4	10
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△43	△48
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△23	△0
受取利息及び受取配当金	△147	△162
支払利息	299	245
有形固定資産除却損	55	135
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	748	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△5	△2
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	182
災害損失	—	226
売上債権の増減額 (△は増加)	△708	△642
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△538	△751
仕入債務の増減額 (△は減少)	266	△1,057
その他	△1,107	1,127
小計	4,400	3,877
利息及び配当金の受取額	124	128
利息の支払額	△295	△243
法人税等の支払額	△619	△582
法人税等の還付額	46	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,656	3,183
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△20
定期預金の払戻による収入	—	200
有形固定資産の取得による支出	△2,348	△2,383
有形固定資産の除却による支出	△23	△102
有形固定資産の売却による収入	9	3
投資有価証券の取得による支出	△2	△37
子会社株式の取得による支出	—	△200
匿名組合清算による収入	—	393
その他	61	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,303	△2,145
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△355	△2,054
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△3,297	△2,390
配当金の支払額	△397	△399
その他	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,053	△4,546
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,700	△3,508
現金及び現金同等物の期首残高	10,108	10,238
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	14	—

現金及び現金同等物の四半期末残高

7,421

6,730

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。